平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年８月10日

上 場 会 社 名	株式会社ギガプライズ	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	3830	URL	http://www.gigaprize.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役	(氏名)	檀野　敬
問合せ先責任者	(役職名) 管理部	(氏名)	木村 賢治　(TEL) 03-5459-8400
四半期報告書提出予定日	平成24年８月10日		

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	449	△3.7	13	11.8	12	18.4	6	83.5
24年３月期第１四半期	467	－	11	－	10	－	3	－

(注) 包括利益 25年３月期第１四半期　6百万円(　83.1%)　24年３月期第１四半期　3百万円(　-%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	502.78	500.79
24年３月期第１四半期	272.91	272.44

(注) 当社グループは、平成23年３月期第２四半期連結会計年度が連結初年度であるため、平成24年３月期第１四半期連結会計年度における連結経営成績の対前期増減率については該当事項はありません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	1,222	663	52.3
24年３月期	1,264	645	51.0

(参考) 自己資本 25年３月期第１四半期　638百万円　24年３月期　645百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	－	－	1,000.00	1,000.00
25年３月期	－				
25年３月期(予想)		－	－	1,000.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	985	7.4	21	△44.5	20	△43.7	7	△59.0	608.87
通期	2,200	12.5	163	27.9	160	28.6	86	25.3	6,753.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　1社（社名）アイ・シンクレント株式会社、除外　　社（社名）

期中における重要な子会社の異動に関する注記

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

会計方針の変更に関する注記

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	14,106株	24年３月期	14,106株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	1,371株	24年３月期	1,371株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	12,735株	24年３月期１Ｑ	12,784株

発行済株式数に関する注記

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料５ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……4
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……4
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……5
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……6
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……6
３．四半期連結財務諸表 ……7
（１）四半期連結貸借対照表 ……7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……9
四半期連結損益計算書 ……9
四半期連結包括利益計算書 ……10
（３）継続企業の前提に関する注記 ……11
（４）セグメント情報等 ……11
（５）重要な後発事象 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として設備投資や個人消費等に持ち直しの動きがみられましたが、欧州政府債務危機による海外経済の減速や長引く円高、厳しい雇用情勢などにより、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下で、HomeIT事業部門のマンション向けISP事業につきましては、マンション業界における供給戸数増と相俟って、新規分譲マンションにおける契約数を回復させることができ、さらに賃貸マンション向けの営業を強化した結果、サービス戸数を増加させることができました。

また、システム開発事業につきましては、企業等の情報化投資は依然として抑制傾向にあり、顧客の値下げ要求も根強いなど、引き続き厳しい経営環境が続いておりますが、既存顧客との取引拡大に注力するとともに、外注費の抑制や業務効率化に取り組み収益改善に努めてまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間における経営成績はは売上高449百万円（前年同期比3.7％減）、経常利益12百万円（前年同期比18.4％増）、当期純利益６百万円（前年同期比83.5％増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

① HomeIT事業

マンション向けISP事業につきましては、新築分譲マンション向けのサービス契約数は、国内分譲マンションの竣工数の回復とともに増加し、さらに昨年より営業を強化しております小規模賃貸マンション向けのサービスが順調に推移し、前事業年度と比べ契約数の大幅な増加を実現いたしました。一方、サービス提供中マンションにおいては、回線品質向上工事の実施ならびにサービスメニューの強化等、利用者サービスの充実を図った結果、解約数を減少させることができ、当第１四半期連結累計期間におけるサービス戸数は前連結会計年度末に比べ2,897戸増の35,929戸となりました。

また、将来のサービス戸数の増加に向けて、不動産管理会社など代理店との提携を強化するとともに、首都圏に集中していた営業エリアを拡大すべく６月１日付けで福岡営業所を開設いたしました。

ネットワーク事業につきましては、サーバ等のレンタルを行うホスティングサービスやネッワーク機器やサーバの運用・監視を行うマネージド・サービス・プロバイダー（MSP）サービスにおいて、システム開発事業部門と連携して顧客基盤の拡充を図り、新規取引先を獲得した結果、堅調に推移いたしております。

こうした事業活動の結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は、302百万円（前年同期比1.0％増）となりました。

② システム開発事業

システム開発事業につきましては、引き続き厳しい経営環境が続いており、既存顧客との取引拡大に注力するとともに、外注費の抑制や業務の効率化に取り組んでまいりました。また、当社子会社の（株）ESPが保有する不動産賃貸管理ソフトウェアの販売を強化するとともに、不動産業界向けのシステム開発やネットワークサービスの提案を積極的に進めてまいりました。

こうした事業活動の結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は、140百万円（前年同期比12.3％減）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、人材派遣等を行った結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は、６百万円（前年同期比9.0％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における資産につきましては、現金及び預金が49百万円減少、受取手形及び売掛金が51百万円減少、棚卸し資産が42百万円増加し、流動資産合計は、前会計年度末に比べ53百万円の減少となりました。また、固定資産合計は、前会計年度末に比べ11百万円増加しました。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、1,222百万円となりました。

負債につきましては、流動負債では買掛金12百万円の減少、固定負債では長期借入金57百万円減少しました。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、559百万円となりました。

純資産合計につきましては、663百万円となりました。

この結果、自己資本比率52.3％となっております。

② 資金の源泉

当第１四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、資産合計の48.5％を占める592百万円であり、当該残高に加え、未使用の借入枠を勘案すると、将来の予測可能な運転資金及び資本的支出等の資金需要に対して十分な財源が存在すると考えております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期業績につきましては、平成24年５月14日付当社「平成24年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました予想から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年６月29日にアイ・シンクレント株式会社の株式を取得したことに伴い、連結子会社となりました。

この結果、当社の企業集団は、当社、親会社２社及び連結子会社２社の５社で構成されることとなりました。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ増加しておりますが、その影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	642,327	592,467
受取手形及び売掛金	330,476	278,695
仕掛品	16,601	59,436
原材料及び貯蔵品	10,786	10,652
その他	26,132	31,025
貸倒引当金	△7,952	△7,586
流動資産合計	1,018,371	964,690
固定資産		
有形固定資産	136,651	141,881
無形固定資産		
のれん	69,545	75,561
その他	24,219	21,712
無形固定資産合計	93,765	97,273
投資その他の資産	15,617	18,513
固定資産合計	246,033	257,668
資産合計	1,264,405	1,222,359
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,559	77,454
1年内返済予定の長期借入金	161,736	179,136
リース債務	―	665
未払法人税等	31,403	6,151
その他	72,363	83,626
流動負債合計	355,062	347,033
固定負債		
長期借入金	254,324	196,490
リース債務	―	2,494
退職給付引当金	4,820	5,846
資産除去債務	5,147	7,368
固定負債合計	264,291	212,200
負債合計	619,353	559,234

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,160	192,160
資本剰余金	112,355	112,355
利益剰余金	454,390	448,058
自己株式	△114,196	△114,196
株主資本合計	644,709	638,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	342	337
その他の包括利益累計額合計	342	337
少数株主持分	―	24,409
純資産合計	645,052	663,124
負債純資産合計	1,264,405	1,222,359

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	467,100	449,790
売上原価	355,278	315,430
売上総利益	111,821	134,359
販売費及び一般管理費	99,957	121,091
営業利益	11,864	13,268
営業外収益		
受取利息	68	55
貸倒引当金戻入額	239	366
営業外収益合計	307	422
営業外費用		
支払利息	1,500	991
その他	163	259
営業外費用合計	1,663	1,251
経常利益	10,508	12,439
特別損失		
事務所移転費用	1,525	－
特別損失合計	1,525	－
税金等調整前四半期純利益	8,983	12,439
法人税、住民税及び事業税	3,581	5,353
法人税等調整額	1,913	682
法人税等合計	5,494	6,036
少数株主損益調整前四半期純利益	3,488	6,402
四半期純利益	3,488	6,402

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,488	6,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△4
その他の包括利益合計	4	△4
四半期包括利益	3,493	6,398
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,493	6,398
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	HomeIT事業	システム開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	299,546	159,980	459,527	7,572	467,100
計	299,546	159,980	459,527	7,572	467,100
セグメント利益又は損失（△）	33,448	△22,337	11,111	753	11,864

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	11,111
「その他」の区分の利益	753
四半期連結損益計算書の営業利益	11,864

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	HomeIT事業	システム開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	302,657	140,241	442,899	6,890	449,790
計	302,657	140,241	442,899	6,890	449,790
セグメント利益又は損失（△）	13,658	△342	13,315	△47	13,268

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	13,315
「その他」の区分の利益	△47
四半期連結損益計算書の営業利益	13,268

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる、当第１四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

４．報告セグメントごとの固定資産ののれん等に関する情報

「その他」セグメントにおいて、アイ・シンクレント株式会社の株式の70％を取得し、企業結合を行ったため、のれんの金額が変動しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第１四半期連結累計期間においては13,043千円であります。

（５）重要な後発事象

該当事項はありません。